



クミアイ

水稲用初期除草剤

サキドリ[®] 1キロ粒剤

©はクミアイ化学工業(株)の登録商標

前に取る！
草は
生える



散布後7日間は
田植えやは種を
しないでね！



ノビエ



コナギ



アゼナ



ミヅハコベ



ホタルイ



ミズガヤツリ



クログワイ



コウキヤガラ

- 有効成分:ブタクロール……5.0%
 ペントキサゾン……1.5%
- 人畜毒性:普通物*
 *毒劇物に該当しないものを指している通称

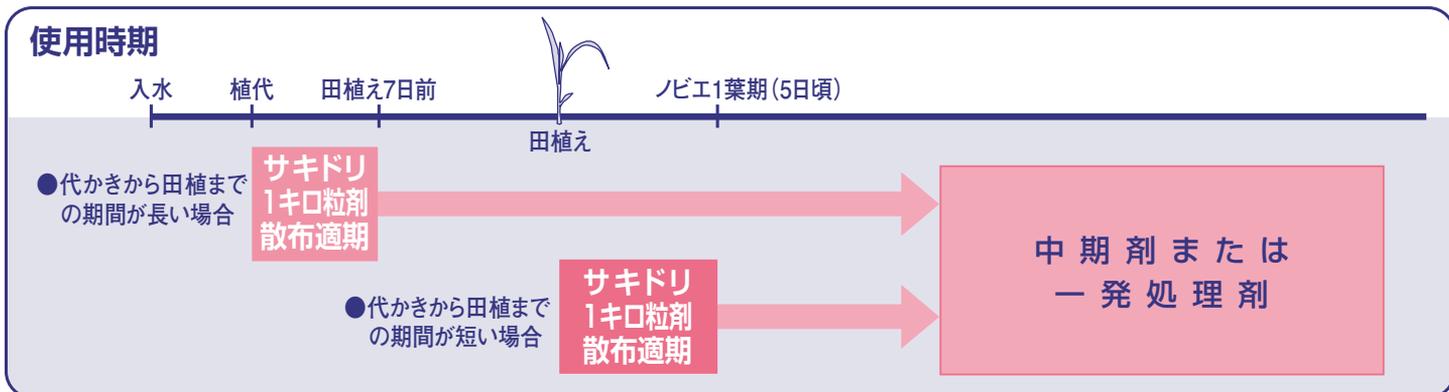
■特長

1. 植代後から田植前7日または移植直後からノビエ1葉期(移植後30日まで)の処理で、幅広い雑草の初期発生を抑えます。
2. 近年増加しているSU(スルホニルウレア)剤抵抗性雑草に対しても高い効果を示します。

■適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ コウキヤガラ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	1kg	1回	湛水散布	2回以内	2回以内
		移植時			田植同時 散布機で 施用		

■上手な使い方 (散布後は雑草の種類や発生状況に合わせて、一発処理除草剤や中期除草剤との体系で使用してください)



■使用方法

- <植代>
- 田面や苗の植付けが均一になるよう、代かきをていねいに行ってください。
 - 植代均平作業後に水深を3～5cmに保った状態で均一に散布してください。
- <散布薬量>
- 10アール当りの散布薬量は1kg(1袋)です。
- <散布時>
- 水田内に均一に散布し、人力散粒機、動力散粒機、田植同時散布機等では所定量の処理薬量になるようにダイヤルを調整してください。
- <散布後>
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面が露出しないように注意してください。また、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。

■使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエ1葉期までに時期を失ないように散布してください。

- なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリは発生始期まで、ヘラオモダカは発生前～発生始期まで、クログワイ、コウキヤガラは発生前が本剤の散布適期です。
- クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまで十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組合せて使用してください。
 - 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはていねいに行い、フラクすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
 - 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので水管理に注意してください。
 - 散布後数日以内の梅雨明けなどによる異常高温では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用しないでください。
 - 散布後に多量の降雨が予想される場合には、防除効果が

- 低下することがあるので使用をさけてください。
- 以下のような条件下では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ・砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)。
 - ・軟弱徒長苗を移植した水田。
 - ・極端な浅植えや深植えをした水田。
 - れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■水産動植物

- 魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2023年6月現在の知見に基づいて作成されております。 2271 (23-6)

自然に学び 自然を守る